

まこと通信

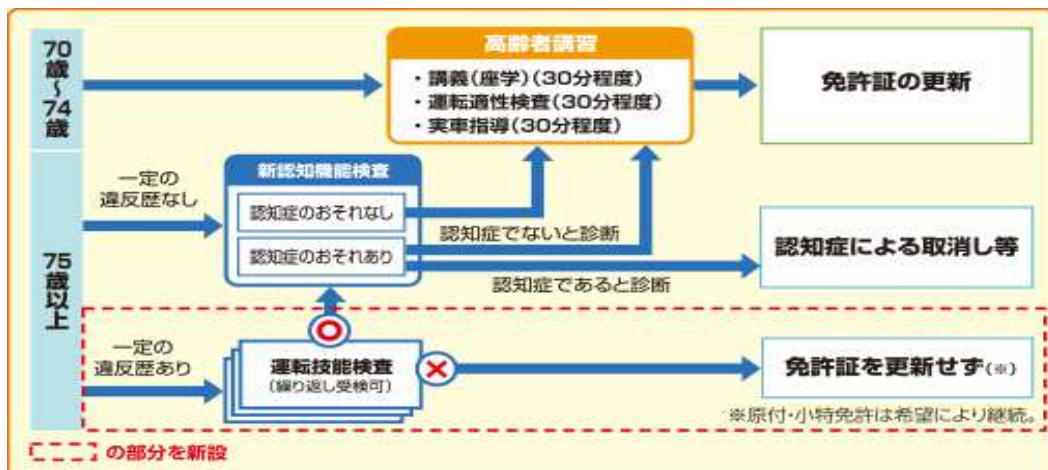
まこと通信は、「まこと」とご利用者様・ご家族様の情報共有のひとつとして発行しております。まことの提供サービスを紹介し、実施している内容に対して少しでもご理解とご協力をいただき、よりよい介護サービスの提供に努めて参ります。発行は毎月10日を予定しています。

高齢者の運転

先日、運転免許証の更新に行ってきました。高齢運転者による交通事故を踏まえて、「高齢運転者対策の充実・強化を図るための規定整備」令和4年5月13日施行により、高齢運転者対策の充実・強化が図られたそうです。

運転免許所有者のうち、70歳以上の高齢運転者は全体の25%を占めているようだ。高齢化が進んでいるので、当然、比率は高くなると思うが、若者の運転離れもあるのではと想像する。令和4年度の75歳以上の高齢者が運転する自動車やバイクが起こした死亡事故は、1年間で379件。2021年より33件増えている。死亡事故全体に占める高齢ドライバーによる事故の割合は、16.7%と過去最高になり、2年連続でワーストを更新している。逆走や信号無視、死亡事故や建物に突っ込んだ事故が日々報道されている。

事故の報道を見て、「どうして」と思うと同時に「認知症」だったのではないのかと認知症で特別な人の事故として理解しようとする。認知症ではなく、それまで、普通に生活されていた方が、事故を起こし



てしまうことがある。それらを防ぐうえでも図のように高齢運転者検査が実施されている。

70歳以上になると「高齢者講習」を受ける。75歳以上は、「新認知機能検査」を受け、認知症ではないと診断されてから、高齢者講習になる。違反歴のある方は、「運転技能検査」を受け、合格したら、「新認知機能検査」へ進んでいく。高齢運転者への検査は厳格に行われるようになったという印象を持った。

運転免許証は写真もついており、身分証明書として利用範囲が広がった。免許証がなくなると、顔写真がついているものがなく、非常に困ったとの声をよく聞いたが、マイナンバーカードが今はその代役をはたしているのが安心である。

もう一つは、移動手段の確保である。高齢になり、運転できなくなっても配偶者が運転や近所の方が運転でき、同乗してきたが、町全体が高齢化し、運転できる方がいなくなり、移動手段が制限されているのを感じる。

地域でどのように交通手段を確保するかはこれからの大きな問題である。そんなことを考えながら、2時間講習を受け、安全運転に努めようと思いました。

小規模まこと ほのぼの日記

「一日、一笑」を目標にまことに来ると毎日がレクリエーション活動のように楽しんでいただけるよう試行錯誤で頑張っています。



節分① ～鬼退治～



今年も鬼退治の季節がやってきました。無病息災を祈り、力いっぱい落花生を投げ、見事に鬼を退治しました。

節分② ～おやつタイム～



おやつには、鬼の顔の上生菓子を堪能しました。「鬼もこんなに可愛いと、食べづらいね」と話しながらも、大きな口でバクリ。こちらも鬼退治完了です。

水ようかん作り



10～2月まで、餡子が美味しい季節ということで水ようかんを作りました。水・粉寒天・こしあん・砂糖を加熱し冷やして完成です。「こんな簡単に、出来るんだね」と驚かれていました。

ダルマ落とし



簡単アイデア、段ボールを積み重ねた、ダルマ落としをしました。「いい運動になるけど、落とすのは、難しいね」と、力いっぱい棒を当てていきます。その音に皆さん「わあ！」と驚きの連続でした。

おはじき



お昼ご飯の後は、懐かしのおはじきで遊びました。「いっぱいあると、他にぶつかるからな…」と呟きながらも、パチンパチンと真剣に弾いていました。

鬼太鼓作り



今月の工作レクでは、鬼太鼓を作りました。鬼の顔を福笑いの様にしてもらったことで、個性豊かな作品が沢山出来ました。

柴田の奮闘記

3月になり、少しずつ暖かい日も増えてきました。時に寒い冬へと逆戻りを繰り返す中、釧路の春はこうやって近づいて行くんだなあ、日々実感しています。

さて、3月1日は、「小規模多機能型居宅介護まこと」の14回目となる開設記念日です。今年はささやかではありますが、昼食に皆さんでお寿司を食べました。開設10周年の時には盛大にお祝いをしたそうです。来年は開設15周年を迎えますので、事前に企画を立て、皆さんとご家族様にもお伝えして、改めて行事への出欠の確認をさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

私自身、まだまだ小規模多機能の考え方に戸惑うことも多くあります。以前在籍していたグループホームとは同じ地域密着型サービスの枠組みではありますが、サービス内容、考え方はかなり違いがあると感じています。介護サービス事業としては一緒ですが、対象となる利用者像やサービス内容、自立支援の考え方、支援の在り方、全てが少しずつ違います。そして事業所だけではなく、「ご家族」と「まこと」の協同で「その方＝利用者」を支えるという考え方が必要であると、私は考えています。小規模多機能は入所型施設ではなく、「在宅での生活を支える事業所」である事に改めてご理解いただけるよう、これからご家族の皆様には個別でご相談させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

小規模やよい ほのぼの日記

喜びや楽しみはもちろん悲しみも共有しながら、それぞれの個性を大切に生活を送っていただけるように、安心・安全をモットーにサービスの提供に努めます。



豆まき①



2月3日は節分！やよいに鬼がやってきました。迫力ある鬼さん(普段はとても優しい職員さんです)、頑張ってご利用様を怖がらせていました。

豆まき②



「鬼は～そと！福は～うち！」と、皆さん元気よく鬼に豆を投げていました。福が入ってくるといいですね。

バレンタイン①



14日はバレンタイン。みんなでチョコレートパンケーキを作りました。こちらは、一生懸命生地を混ぜているご利用者様です。がんばって美味しくなるように混ぜていただきました。

バレンタイン②



できたパンケーキを嬉しそうに召し上がっているご利用者様です。食べるのが大好きな方なので、あっという間に完食していました。また一緒にお菓子作りしましょうね。

山崩しゲーム！



この日は午後から、シュレッターで細かくした紙を使い、山崩しゲームを行いました。ラップの芯を立て、倒れないように山を崩していきます。とても盛り上がりがありました。

元気にカラオケ♪



こちらのご利用者がマイクを持つとても盛り上がります！他のご利用者様も元気にカラオケに参加されていました。たまには大きな声を出して発散して

増山の奮闘記

すこしずつですが暖かい日々が続き、雪も解け始めております。まだまだ春の訪れは聞こえてきませんが、ようやく長い釧路の冬も終わりが近づいているようです。

認知症の研究が進み、治療薬・予防方法等科学的根拠に基づく対応が聞かれ始めています。最近では嗅覚を刺激することで認知症の予防が出来るとの研究結果が発表されました。アルツハイマー型認知症では、海馬が委縮することで記憶障害が起きますが、海馬の委縮より前に嗅神経の機能が低下するという特徴を捉え、アロマの香りで嗅神経を刺激することで認知症を予防するという研究です。これまでは神経細胞は再生しないとされていましたが、近年の研究より嗅神経と海馬には再生能力があることがわかり、特に再生能力の高い嗅神経を効果的に刺激することで、嗅神経細胞が再生しその刺激が海馬にも伝わり、海馬や周囲の神経細胞の働きが活性化されるということです。

認知症の研究が進み、根本的な治療が可能になる未来も夢ではないのかもしれないと感じさせていただけのニュースだと思いました。

グループホームまこと ほのぼの日記

天気の良い日は外に出掛けよう。家の中でも、何か楽しい事はないかな。
事前に計画した行事は少ないのですが、思い立ったが吉日。
何でもやっちゃおう、の精神で毎日楽しんでます。



豆まき①



今年の鬼は元気
いっぱい！驚かし
に迫ってきます！
みんなも負けず
「鬼は外！」「福は
内！」と、豆を力
いっぱい投げます。

豆まき②



長い戦いを制した
のは、ご利用者の
皆様！最後はゲー
パンチを与え鬼が
逃げるように去っ
ていく姿を見て大爆
笑！

好きな食べ物は？



今年中に食べた
いものを、皆で言
い合いました。「お
好み焼き食べたい
ね」と作れそうなも
のから「高級なお
寿司が良いなあ
…」と言うだけなら
タダですもんね。

カラオケ大会



今年から定期的
に行われることにな
った、カラオケ大
会。みんなで歌った
り、十八番を披露し
たりと素敵な歌声が
聞こえてきます。

みんなでやれば



一服の後は、仕
事が待っています。
洗濯物が溜まって
いるのを見て「みん
なでやればすぐだ
から」と、三人協力
して畳んでくれました。

2月の誕生日会



ケーキを買って、
お誕生日のお祝い
をしました。皆に困
まれて恥ずかしそう
な表情。「おめでと
う」と言われると「あ
りがとうね」と笑顔で
手を合わせていまし
た。

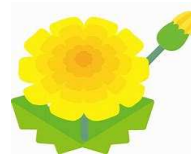
鹿野の奮闘記

2月25日、22:30頃、私が夜勤中に突然、“ドーン”と揺れ、スマホのアラームが鳴り、その後もグラグラと揺れが続きました。皆さんもビックリされたと思います。すぐにテレビを点けて、地震の情報を確認し、自宅に電話、ご利用者様の様子を見ましたが、3名の方が気づいて起きてきていただけで、他の方はぐっすりと眠られていました。この時期に思い起こすのは、やはり東日本大震災です。あの時、私は 釧路川が引いていくのを見て、避難しなければと思い、少し高台の実家に避難しました。最近の地震は、震度5が頻繁に起り、道東でも大型の地震が近いうちにあると報道されています。そうなった時、グループホームではどうなるのか、私たちはどうすればいいのか想像以上になるかもしれません。その為の準備、心構えをしっかりと持っていなければなりません。年2回以上の避難訓練、自然災害発生時における業務継続計画(BCP)が義務付けられています。2月も火災発生想定避難訓練を行い、職員は緊張しながらも、真剣に取り組んでいました。大きな地震が起こらない事を祈り、しっかりと準備を整えて対応したいと思います。

また、3月19日にはお陰様でグループホームまこと13周年を迎えます。ご馳走とご利用者様と職員の余興、1年間のスライドショーなどで皆さんでお祝いします。その様子をブログ、お便りでお知らせしますので、お楽しみに！

グループホームやよい ほのぼの日記

ご利用者様、一人一人の要望に全力で向き合い、常にご利用様本位のケアを行います。職員一人一人がご利用者様の笑顔溢れた暮らしを支援していきます。



バレンタイン制作



バレンタインに向けて女性陣の方々にチョコレートを作りました。皆様一生懸命に作られていました。

バレンタイン・プレゼント



作ったチョコレートを男性の方々に配っている様子。照れながらも「ありがとう」と喜ばれていました。

節分



節分レクを行いました。鬼に扮した職員が来ると皆様勢いよく豆を投げ、最後は福は内をして今年も良い事があるように福を呼び込みました。

再開



小規模やよいに入居されている旦那様が会いに来てくれました。とても喜ばれ涙ぐまれながらお話されていました。

棒で玉転がし



今日はレクで棒を使い玉転がしを行いました。皆様一生懸命に棒で転がしており笑顔で「難しいけど楽しいね」と参加されていました。

窓ふき名人



日曜日の午後から窓ふきを手伝っていただいている様子。とても綺麗に拭いてくださり職員一同大変助かっています。

石黒の奮闘記

休職していた職員が2月・3月と復帰しています。介護の仕事は体力を使います。人によりますが8時間労働となるとまず体力が続きません。施設内を歩いただけで息を切らしたり、体の動かし方を忘れ介助で腰を痛めたりする可能性があります。そういうことが無いように予防の為、だいたい4時間ぐらいから業務を始めます。また休んでいた間、ご利用者様の身体機能や認知機能にも変化が見られます。以前出来たことが出来なくなっていたり、理解力の低下で意思疎通が困難になっていたりと等。事前に各ご利用者様の介護記録やサマリーに目を通していけば上記の問題は対応できる可能性が高くなります。介護技術に関しては口頭で指示を出して出来るほど簡単なことではありません。再度指導を行う事で感覚を取り戻してもらう必要があります。1ヶ月ぐらいすると体が慣れてきます。希望により勤務時間を増やしたり、そのまま継続したりします。ですが、慣れなかった事も考えなければなりません。慣れずに出来ない仕事が出てきた場合は他の職員がフォローに入り行わなくてはなりません。また、ずっと出来ないではなく、どうすれば出来るかをよく考えなくてはなりません。考え方を変えたり、介護技術を学び練習したり研鑽することは沢山あります。大変ですが介護技術は何度も繰り返し実施して覚えなくてはなりませんので頑張っていたきたいと思います。

小さなデイサービス緑ヶ岡 ほのぼの日記

「我が家スタイル」の緑ヶ岡デイサービスの日常です。今月も笑顔の絶えないご利用者様との触れ合いを綴って参ります。「お客様第一主義」を念頭に、職員一人ひとりが心配りをマメに行い、心か



紙相撲大会



ご利用者様に手伝って頂き、昔懐かしの紙相撲を作って遊びました。周りのご利用者から「頑張ってる！」「もう少し！」等の言葉が飛び交っておりました。

バランスゲーム



カラフルな発泡スチロール板を丸く切り、ペットボトルのキャップを乗せていくバランスゲーム。積み上げる途中で何度も崩れましたが、ついに10段達成しました。

バレンタイン・パフェ



2月はバレンタインパフェ作り週間を開催しました。カップにコーンフレークやカステラ、アイス等を自由に入れて飾り付けを行い召し上がって頂きました。

焼うどん作り



調理レクで焼うどん作りをしました。普段食事を作っていない利用者様。手際の良さはピカイチです。

うさぎ大集合



今年は卯年です。たくさんのお可愛いうさぎが大集合しました。色、顔、表情もさまざまです。お気に入りの1匹を探して下さい。玄関にて皆様をお迎えしています。

お稲荷さん作り



新しいご利用者様も参加し、お稲荷さん作りをお願いしました。いつも快くお手伝い頂きありがとうございます。

高橋の奮闘記

3月に入り暖かさを感じられる様になりました。春は気持ちをワクワクさせてくれます。2月14日はバレンタインデー。今回はレクとして一週間パフェ作りを企画いたしました。コーンフレークの上にカステラ、その上にアイス、生クリーム、フルーツ盛りの上にはチョコソース、ウエハースを乗せて出来上がり。これを、自由にお好きな分だけ乗せて作って頂きました。食べない方、残す方はいないだろうか？そんな心配はよそに、皆様、すべて完食。「美味しいね。」「又、来月もやってね。」とリクエストも入り、やって良かった、大成功のパフェ企画でした。

当法人には、「まこと保育園」という定員19名の働く親御さんの為に作られた保育園を運営してしています。現在、保育士募集中です。職員全力で知人に声を掛け保育士さんを探しています。そこで、ご利用者様のお力を借りようと、案内をさせて頂くと、「あら～そうかい。手伝ってやりたいけど、もう手伝いできないしねえ。」「何か出来る事、あるかい？」と心配りの発言に改めて感動を受けました。そんな中、「娘が保育士で今は何もしていないので聞いてみます。」とMさん。「孫が保育士で働いているよ。」とSさん。皆様の近くに保育士さんはいらっしゃいませんか？是非、ご紹介いただけますと幸いです。お待ちしております。

小さなデイサービス大町 ほのぼの日記

『ご利用者様と心をかよわせ、共に生活を支えあう』を、モットーにスタッフ一同、日々頑張っております。



紙だるま～



今年も紙だるまの登場にご利用者様大喜び。「また逢えたね、抱きつきたいよ～」とハグをしてくれました。

豆まき



今年は新入りの鬼が登場し、いつも以上に盛り上がりました。その後はおやつのお楽しみどりに挑戦。「取ったど～」の歓声が上がりました。

お手伝い



何時も良くお手伝いをしてくれるご利用者様。「私、せっかちだから」と話されながらテキパキこなされています。

ばあー！



「だあ～れ？」と言いながら近寄って覗き込むご利用者様。遊びに来てくれた赤ちゃんに皆メロメロ。

手工芸



3月も近くなり毎年つくるお人形。細かい作業があり遅れ気味。皆で力を合わせ頑張ろうね。

笑顔にやられる！



ご利用されてから10年が経つイケメンのご利用者様。この笑顔に弱い職員達。今ではツーカーの中ですよ。

堤の奮闘記

朝夕の冷え込みはまだ厳しい日もありますが、天気の良い日中は、窓から差し込む日差しがまぶしいくらいです。このまま春が訪れるといいなと感じております。当事業所のご利用者様の様子と言いますと、体調不良で休まれているご利用者様が数名いらっしゃいますが、その他のご利用者様はインフルエンザが猛威を振るっている中でも元気いっぱいに来所されております。体調を崩され休まれているご利用者様も1日も早く回復され元気な姿を見せていただきたいと思います。

今年の節分はというと、新人職員がお約束でもある鬼に扮装(全身タイツ)。ご利用者様に初お披露目。指名した際には「どうしょ～、こんなの着たことがない、ドキドキします。」と緊張気味の本人。いざ着替えていくうちになかなか様になってきたようでやる気満々の姿を見せてくれました。豆まき後、緊張したけどとても楽しかったと笑顔で話をしてくれました。

3月3日は桃の節句ですね。今年の桃の節句も昨年同様美味しいお昼ご飯、そしておやつにはいつもの雛あられと甘酒。また、今回の手工芸のお雛様。作業が細かすぎて悪戦苦闘。それでも、皆様間に合うように頑張って作られ無事に飾ることが出来ました。毎年人形を作っているのでも来年は、人形ではなく別の物を作ろうかと今から職員と話をしているところです。

まこと保育園 ほのぼの日記

安心安全な保育を提供し、保護者とともに歩みます。

家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの個性を大切に育てていきます。

子どもの笑顔・保護者の笑顔・保育士の笑顔を目指します。



さくら組(節分)



製作の時間に作った鬼の角の被り物を被って参加しました！真剣に話を聞いている姿に成長が感じられる瞬間です。

節分



鬼の登場に不安そうな表情を浮かべたり「怖い～！」と泣き出してしまったさくら組さん。怖い中でも頑張りました。

すずらん組(節分)



自分達で作った鬼のお面を被って節分集会に参加しました！いつ鬼が来るかとドキドキしながらも楽しく参加していましたよ。

節分



鬼が登場すると、怖くて泣きだしてしまいましたが、怖さに負けずに最後までボールを投げつける事が出来ましたよ。

すみれ組(節分)



お面を被り、鬼に変身をして、朝の会のお当番をしました！お面が気になりながらも、歌やご挨拶をしっかりとするすみれ組さんでしたよ。

節分



鬼が登場すると怖がって逃げたり、泣きそうになっていましたが、鬼は外、福は内の掛け声に合わせてボールをぶつけて戦っていましたよ。

佐々木の奮闘記

日に日に厳しい寒さも和らぎ、釧路はまだ雪こそありますが、園内にはやわらかな陽射しが差し込み、今年度の残りわずかな時間をそっと包み込んでくれている気がします。新しい保育園や幼稚園に行く事をとても楽しみにしているすみれ組、また一つお兄さんお姉さんになる喜びをそれぞれに感じて、進級を心待ちにしているすずらん組とさくら組も、この一年で大きく成長した姿に、頼もしく感じている今日この頃です。

2月3日は節分の日。鬼が保育園にやって来るのか心配で、鬼退治の方法もみんなで練習しながら迎えたこの日でした。いざ鬼がやって来ると、泣き出す子、呆然としながらも先生にしがみつ子、隠れる子、ボールを手にやっつけようとする子など様々でした。何人かの子は泣きながら『赤い鬼、園長先生だったあ』と言われ、今でも『園長先生、鬼になっちゃうもんね』と言われている。『お買い物に行ってたよ』と言っても『園長先生だったあ』と揺るぎない確信に苦笑していました。次年度はもっと高度に変身したいと思います。

これまでコロナ禍の中、思うような親子での交流が出来ず、寂しい想いをさせてしまったと思います。あの手この手で、園内の様子をお伝えする努力もしておりましたが、ご満足いただけれておりましたでしょうか。そのようなことも含めて、多大なるご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございました。

残りあと僅かとなりましたが、環境の変化に戸惑わないよう、安心して過ごせるように一日も早く整えていきたいと思っておりますので、変わらぬご協力をよろしくお願い致します。

キャリアアップ支援研修

「①意欲を高める魅力あるリハビリ介護

②魅力ある介護～プロが引き出す要介護者の力～」

2月19日(日)釧路プリンスホテルにて、魅力ある介護とリハビリと題した講演会が開催されました。

第一部はNPO法人日本医療福祉介護協会理事長であり作業療法士でもある山田勝雄様による「意欲を高める魅力あるリハビリ介護」と題した講演がありました。

介護の仕事を選んだ理由と感謝される介護職員とは？

介護を仕事して選んだ理由は、①感謝される仕事に就きたい②お爺ちゃんお婆ちゃん子だった等があり、感謝される介護職員になるためには、①笑顔②優しい気持ちと想像力③コミュニケーション能力が必要であるとの話がありました。

寿命と健康寿命

寿命とは生まれてから逝去されるまでの年月、健康寿命とは介護が必要となる前までのステージを指し、寿命・健康寿命ともに女性の方が永くなっています。

健康寿命を延ばすには、運動、食事、精神、記憶、会話などを心掛けた生活が必要であり、その実現に向けては理学療法士のような専門家が必要であるとの事です。

トークショー

第二部として、タレントのハリー杉山様をお迎えしてのトークショーが開催されました。

ハリー杉山様のお父様がパーキンソン病と認知症を患った時の在宅介護の様子や、介護施設へ入所させる時の葛藤などリアルな話しを惜しみなく話していただきました。

また、ハリー杉山様は「在宅介護で追い詰められていた自分達が、笑顔を取り戻せたのは介護チームのおかげである」と感謝を述べ、コロナ禍での介護職員の過酷な労働についても労いの言葉と共に介護職員の負担軽減の大切さを話されていました。

トークショーの後半からは参加者からの質問を受けながら、会場が一体となったトークショーとなり、参加者の皆さんからも「とても良かった」「介護の参考にしたい」など多くの声が寄せられました。

YouTubeをはじめ数々の場でお父様の介護をした経験を話されているハリー杉山様ですが、実際にお会いして直接聞ける話の内容は、感動を得るものとなりました。



まことクイズ



～今月の問題～

この写真の建物の名称は何でしょうか？

1. 鳥取ドーム
2. 湿原の風アリーナ釧路
3. 春採アイスアリーナ
4. 釧路アイスアリーナ



～先月の問題～

この写真の建物の名称は何でしょうか？

1. 釧路地方合同庁舎
2. 釧路地方裁判所
3. 釧路法務総合庁舎
4. 釧路弁護士会館

答えは3番の釧路法務総合庁舎でした。

職員紹介



昨年の6月と8月に日本在留のタイ人2名。今年1月にタイ本国から1名、2月に4名が来日。特定技能1号の介護職として入社しています。グループホームに4名、小規模多機能に3名が所属し、それぞれの施設で管理者や介護職員の指導・支援を受けながら介護業務に努めています。ご利用者様からは「仕事頑張ってるよ。とても優しいよ」と言うお言葉を頂いています。

まだまだ言葉の壁はありますが、一日も早く日本(釧路)の気候・風土・生活に慣れ、日本語・介護の基礎知識・コミュニケーションスキルを習得し、一人前の介護職員に育って欲しいと思います。また、3年後には介護福祉士を受験するまでの介護知識・技能が高まるよう指導・支援していきたいと思ひます。新たに入社した4名につきましては、次号以降の職員紹介欄でご紹介させていただきます。よろしくお願いいたします。

ケアプランセンターからのお知らせ

3月になり、日中の寒さが和らぐ季節となりました。3月13日以降マスク着用は個人の判断に委ねることとなります。5月8日には感染症法の類型が5類へ変更となります。2020年1月の流行から3年経過しての緩和となる為、不安を感じている方もいらっしゃるかと思います。引き続き手洗い、うがい等の感染予防を意識する事は必要ですね。

お一人暮らしのご年配の方、お身体の事や介護のことで悩んでいる事等、御座いましたらお気軽にご相談ください。

ケアプランセンターまこと 管理者 玉木

TEL 0154-68-5531 FAX 0154-68-5399

研令和4年度研修・講習会終了

株式会社リハビリサポートまことが北海道の委託を受けて実施している「認知症介護実践者研修」「認知症対応型サービス事業管理者研修」は、感染防止対策としてマスク・フェイスシールドを着用して、3年ぶりに講義型の研修を実施することができました。実践者研修では、他施設実習の中止、施設内感染で2名の方が欠席を余儀なくされましたが、所期の目的を十分に達成することが出来ました。

日本医療福祉介護協会主催の「キャリアパス支援研修事業」(年7回実施)も、コロナ禍の為、6回はZOOMでの開催となりましたが、最終回の講演会は予定どおり釧路プリンスホテルで100名を超える皆様のご参加を頂き盛会裏に終了することが出来ました。

研修・講習会事業に対しまして管内介護福祉関係事業所様を始め、多くの市民の皆様へ深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。なお、令和5年度の実施計画につきましては、決まり次第ご案内させていただきます。



現在の空き状況

3月8日現在

施設名	空き人数	備考	お問い合わせ先 ☎	担当者
小規模多機能型居宅介護まこと	5名	通い可	0154-41-3633	柴田
アシストリビングホームまこと	0名		0154-41-3633	柴田
グループホームまこと	1名		0154-41-8355	鹿野
グループホームやよい	0名		0154-42-2078	石黒
小規模多機能型居宅介護やよい	5名	通い可	0154-64-5210	増山
アシストリビングホームやよい	0名		0154-64-5210	増山
小さなデイサービス緑ヶ岡	空き有り		0154-68-4850	高橋
小さなデイサービス大町	空き有り		0154-42-8377	堤

随時ご相談に応じておりますので、
どんな事でもお気軽にご連絡ください。



ま

こころこめて

こ

の住み慣れた場所で

と

もに築きます

発行: 株式会社リハビリサポートまこと

住所: 釧路市大町5丁目2番21号

電話: 0154-44-7733 発行責任者: 代表 山田勝雄